

# 千年の森便り No.184

2018.11.22

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

11月18日(日)曇

先月の公開行事は総勢80名近くの参加でお祭り騒ぎでしたが、今は打って変わって10名だけの静かな活動日となりました。会員の皆様にはそれぞれ都合が有って、たまたま千年の森活動日と重なってしまい、参加できなかったのだと理解しています。

さて、そろそろ来年度の年間計画策定の時期になりますが、これまで以上に活発な活動を目指して活動助成金を申請しました。首尾良く申請が通れば来年度は盛りだくさんの活動になると思います。

この機会に皆様には会の魅カアップのアイデアを寄せて頂けると助かります。(坂本)

参加会員は伊藤、及川、大原、栗山、坂本、田島、根本、真鍋、松田、山口の10名でした。

### ○島外農地の草刈り

吊り橋近くの休耕農地を自由に使用してもらうのと引き換えに周辺の雑草刈りを引き受けています。夏にも部分的に刈りましたが、今月も引き続き作業する事にしました。

事前の呼びかけに応じて刈払機持参加者が4名いましたので、これまでの土手斜面に加えて耕地部分も刈りました。刈り払った草は列状に集めてそのまま残しています。

春になったらウドなどの山菜苗を植えるつもりですから、その時に根元を覆うマルチ材に利用して、最終的には有機物肥料にする為です。これからは害獣対策など、何につけても頭を悩まし、試行錯誤は続くと思いますが、収穫に至るまで気長に見て下さい。草刈の皆さん筋肉痛になりませんでしたか?ご苦労様でした。

なお、寒くなると昼食時に暖かい汁ものが欲しくなります。農地の一角にかまどを置いて煮炊きができるのも収穫以外の大きなメリットです。今月も早速利用しましたが、火の後始末に完璧を期すのは言うまでもありません。因みに食材の里芋、蕪、ネギは我が家の菜園の収穫物、コンニャクも栽培しているので、生芋からの手造りです。将来的には島外農地で何種類か調達できるのが夢です(坂本)



### ○実いろいろ



## ○11月のきのこ

森に入るなり千年広場からギャップ更新林にかけて、ナラタケの大群生、切り株にも林床にも、林床にはリング状に。なかには老菌化して黒変し悪臭を放つものも。これだけのナラタケの大発生は千年の森15年の新記録。

<友塚新樹さんの投稿>

「ツチアケビも大喜び。来年？大発生してくれるのでしょうか？」

(ちば里山\_people Face Book11/19 記事の一部転載)



例年11月の千年の森では、ハラタケ目のキノコは殆ど見られませんが、今年は違います。原因は気温が平年より高い気候が続いていることも一因でしょう。特に、ナラタケ(広義)が大量に発生したのも驚きです。



ナラタケ(広義)



クリタケ



アカモミタケ



シロカノシタ

<観察したキノコ>●キシメジ科シイタケ・ナラタケ(広義) ●ウラベニガサ科ウラベニガサ ●モエギタケ科クリタケ・ニガクリタケ ●フウセンタケ科アセタケ属種 ●イボタケ科コウタケ ●ベニタケ科ベニタケ属種・アカモミタケ・キチチタケ ●タコウキン科コフキササルノコシカケ・カイガラタケ・ヒイロタケ ●カノシタ科シロカノシタ(松田)

## ○昆虫観察記録

秋も深まり肌寒く、飛んでいる虫の姿はほとんど見られません。栗山さんが先月に発見されたヤマトアシナガバチの巣を見に行くと、空の巣だけが残っていました。千葉ではあまり見られないハチで、私も見たことがありません。女王蜂がどこかで生き延びていて、来春、姿を見せてくれることを期待したいと思います。

広げた傘を逆さまにし、葉や枝をトントン叩いて、1時間ほど虫探し(ビーティング)。傘に虫が落ちてきます。「小さなクモがいっぱい!」「あら、クロマドボタルの幼虫!」虫には気の毒ですが、宝物がザクザク落ちてくる感じです。一見するといないように見えますが、虫たちはひっそりと葉裏や枝に隠れているのです。これから、寒さが厳しくなると、これらの虫たちもだんだんと少なくなっていくことでしょう。無事に冬を乗り越え、春まで命をつなげられますように!



ヤマトアシナガバチの巣



クロマドボタルの幼虫



ツヤアオカメムシ



クロノマチョウ(栗山)

<枝をたたいて落ちてきた昆虫とクモ>

ツマグロオオヨコバイ、アカサシガメ、ツヤアオカメムシ、トサカグンバイ、クサカゲロウの一種幼虫、サンゴジュハムシ、マダラアラゲサルハムシ、クロマドボタル幼虫、ヒラタアブの一種幼虫、オウギグモ、ヨツデゴミグモ、アシナガグモ、ウロコアシナガグモ、ギンメッキゴミグモ、アサヒエビグモ、シャコグモ、コハナグモ、ワカバグモ、ヤミイロカニグモ、デーニッツハエトリ、ネコハエトリ(田島)

## ○センサーカメラの移設

『アナグマの巣らしきものがある』との福島さん情報に基づき、豊英島にかかる橋に設置されていた2台のセンサーカメラのうち1台を巣と思われる穴をモニターできる場所に移設しました。センサーカメラのセットや交換用のバッテリーとメモリーを持つての急こう配地の上り下りはタイトでした。また、バッテリー部の接触不良もあり、設置・動作確認に手間取りました。しかしながら、これでリアルなアナグマの姿が捉えられれば容易いことです。

もしもアナグマが現れうまく定住してくれ、繁殖などしてくれれば、豊英島を訪れる楽しみが、また一つ増えるのですが。(及川)



急斜面でのカメラせっちに苦戦中の及川さん

## ○センサーカメラの画像から

10月は雨模様と、きのこ関係で多忙だったためにメモリーの回収、交換ができませんでした。従って今回の画像は9月に撮影されたものです。

9月17日の活動を終えて私達が引き上げた数時間後に、入れ替わりにニホンザルの親子が島に入っています。22日にも写っていて、この時、好奇心の強い子猿がカメラに触れたらしく、レンズが下向きになってしまいました。その結果、橋の路面上を歩くニホントカゲが真上から写りました。頭部と尾部が別の日に写っていますが、つなぎ合わせれば間違いなくニホントカゲです。元のレンズ角度では写る筈の無いものですから、これは怪我の功名ならぬ猿の功名と言うのでしょうか。



アナグマ 9/18



ニホンザル 9/22



ニホンザル親子 9/22



ニホントカゲ頭部 9/23

<撮影は全てセンサーカメラ、9月17日には子ザルを含む4頭が撮影されています>

その他にはアナグマが写っていました。

及川さんから報告のあった作動不具合のカメラを持ち帰って点検したところ、防水ケースの内側に蟻が泥を持ち込んで巣のような物を作り、数十匹潜んでいました。これが原因でスイッチの不具合を生じているようなので、巣を取り除いて掃除をしたら正常になりました。次回の活動日に再度設置します。(坂本)

## お知らせ

### ○12月の定例活動日

12月9日(第2日曜日)9時30分、清和自然休養村管理センター集合 シカの個体数調査、巨木林生長量調査、ホテイ岬森林整備、植物、野鳥、昆虫調査、島外農地草刈り(草刈り機のある方はご持参ください)

### ○1月の定例活動日

1月20日(第3日曜日)9時30分、清和自然休養村管理センター集合、植生保護柵の増設、ホテイ岬森林整備、植物、野鳥、昆虫調査